

第1回 引佐南部中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年5月18日(木) 13時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 引佐南部中学校 2F会議室
- 3 出席委員 内山 哲哉、山村 行弘、安戸 哲弘、河村 壽子、石野 由美子、眞鍋 和親、永田 琢也、鈴木 千香子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 戸田 誠
- 6 学 校 阪井 小百合（校長）、北野 昌宏（教頭）、十河 直美（CS担当教員）、荒谷 朋子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 荒谷 朋子
- 9 協議事項

- (1) 新規委員の任命
- (2) 授業参観
- (3) <報告>学校・生徒の様子について
- (4) 熟議
 - ① 授業参観について
 - ② 学校運営基本方針について
 - ③ いじめ基本方針について
 - ④ 学校運営協議会自己評価の実施について
 - ⑤ 夢育やらまいか事業に対する意見書について

10 議長の選出と今後の選出について

前回運営協議会后に、内山会長より今回の議長を務めることの申し出があり、全員意義なくこれを承認した。また、次回以降についても、会の終了時に次回の議長の選出を行う旨を提案し、全員意義なくこれを承認した。

11 会議記録

司会の北野教頭から、委員総数8人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

また、会議に先立ち、前回会議録の確認をお願いした。

- (1) 新規委員の任命
校長より新規委員の任命書の交付が行われた。
- (2) 授業参観
各教室の授業を自由に参観した。
- (3) <報告>学校・生徒の様子について
 - ◇ 学校の様子を校長より報告
 - ・素直で落ち着いているが、自分たちからの発信が少ない。専門教科の職員として、非常勤教員5名が勤務。
 - ◇ 施設面を教頭より報告
 - ・野球場のバックネット及び体育館の工事を行った。今年度は水道管の工事に大きく手を付ける。遠距離通学者対象（6キロ以上）のスクールバス（川名便、伊平便）の運航開始。谷沢・狩宿便は2学期から運航予定。

(4) 熟議

① 授業参観について

- ・ 落ち着いてまじめに取り組んでいる。ある先生の板書がとてもきれいで、子供のノートがきれいに書けている。(安戸委員)
- ・ 板書の量が子供にとって適当な量で、ノートがとりやすい。先生方の字がきれい。各教科で求められている学力を身に着けさせるための授業をしていただきたい。(山村委員)
- ・ 登校時も授業時もマスクをしている。子供には有害だとも思う。家庭の事情でマスクをしている場合は仕方がないと思うが、健康な子供はやめたほうがいいのではと思う。子供たちが素直すぎる。(石野委員)
- ・ 子供たちの様子は毎年あまり変わらない。落ち着いて、まじめで、自分発信が苦手。自信を持ってほしい。暑いのに長袖を脱がない子供がいる。自分で考えて判断、行動ができるようになってほしい。(河村委員)
- ・ 子供が自発的に何かを知りたいという欲求が少ない。勉強に対してのリアクションが薄い。先生の丁寧さのありがたみを子供たちが理解しているか疑問。(眞鍋委員)
- ・ 先生の声が聞きやすい。1年間を通して子供たちが向き合っていける授業をお願いしたい。(永田委員)
- ・ おとなしくまじめに授業を受ける、というのは変わっていない。子供のリアクションが幼稚園児でも薄い。中学生は思春期でさらに恥ずかしい気持ちがあり、反応が少ないのではないか。(鈴木委員)
- ・ 一斉授業だとおとなしい。グループ学習だとにぎやかにできる。(安戸委員)
- ・ 昔と比べると、子供にとって珍しいものが減っているのでは。人と違うことをするのが苦手という子もいる。(山村委員)
- ・ 五感をはたらかせる授業や体験をもっとしたほうがいい。喜怒哀楽の上限が決まってしまう気がする。許容範囲が狭い。コロナのせいで感情が制限されている部分もある。できれば、自ら何かをやりたい、考えるという行動が出てくるといい。(戸田ワザバー)

② 学校運営の基本方針について

校長より今年度の学校運営基本方針の説明を行った。

- ・ 生徒数の推移からすると、部活動の数はどうなっていくのか？(山村委員)
→来年度、入学予定者が減るので、入部者数によっては休部や廃部という選択も出てくる。柔道の外部指導者も必要になってくると思う。(校長)
- ・ 部活動検討委員会でも話し合った。先生も少ない状況では現状維持は難しくなっていくと思われる。(安戸委員)
- ・ この10年で男子バレーボール、女子卓球、女子ソフトボールが休部となっている。これからさらに減る可能性もある。(内山委員)

③ いじめ基本方針について

校長より浜松市立引佐南部中学校いじめ防止基本方針について説明を行った。

- ・ 年2回のアンケートは誰が開けているのか。(安戸委員)
→体罰アンケートはPTAの会長が開封している。いじめや生活アンケートは教職員が回収をして、緊急性があるものはすぐに対応している。(教頭)
- ・ いじめやパワハラなど、個人の意見が大きいところがあり難しい。(山村委員)

- ・ いじめが0になることは不可能。それが大きくならないようにすることが目的。(戸田ガザバー)
- ・ 触れるだけのことで体罰という子供もいる。触らない、ということではなく、大人が行為に対する説明ができるようになるといいのでは。(河村委員)
- ・ 大学でも金品に絡むような重大ないじめもある。職員に言って被害者が守られているというスタンスがいじめを大きくしたこともあった。一番いいのは、仲直りができること。守って離すだけでは難しい。(眞鍋委員)
- ・ 傷害事件になるようであれば、警察などにも相談し、離すことも必要。犯罪者を生み出してしまいう可能性もある。(山村委員)
- ・ 協議会の中でも定期的に話題に出していきたい。(内山委員)

④ 学校運営協議会自己評価の実施について

前年度の自己評価で設定した、来年度の目標に基づき、本年度の目標を『地域への周知や具体的な課題改善のための話し合いを進めていく。』とすることが内山会長より提案され、全員意義なくこれを承認した。

- ・ 前年度より一歩進めて動き、子供たちや先生からの意見も聞いていきたい。(内山委員)

⑤ 夢育やらまいか事業に対する意見書について

教頭より別紙資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書と、資金の使い道について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ 学校から、職業体験について5事業所ほど追加したいという依頼があった。世の中と子供たちを関わらせ、広い視野を持たせていきたい。各委員から受け入れ可能事業所の情報をいただきたい。(永田委員)
 - ・ 子供たちからの希望個所も聞き、それに応じて声掛けをしたい。(安戸委員・河村委員)
 - ・ コロナ前のリストがあればほしい。(永田委員)
 - ・ 職業体験実施日は、11月9日(木)、10日(金)9時～15時。時間帯は都合がつく。追加事業所が9月ごろには決まっているとありがたい。(教頭)
 - ・ 委員のライングループを作成して、夏休み明けまでに情報を共有したい。(永田委員)
- 協議の結果、夢育やらまいか事業について全員意義なくこれを承認した。

12 その他連絡事項

(1) 次回開催日時

第2回 令和5年9月27日(水) 13:30～

第3回 令和5年12月13日(水) 13:30～

第4回 令和6年2月20日(火) 13:30～

(2) 次回議長選出

次回の議長は安戸委員、3回目は山村委員、4回目は内山会長に決定。

(3) 次回熟議内容について

授業参観、行事等の確認など